



FIREHAWK FX

取扱説明書 ▶

Firehawk FX

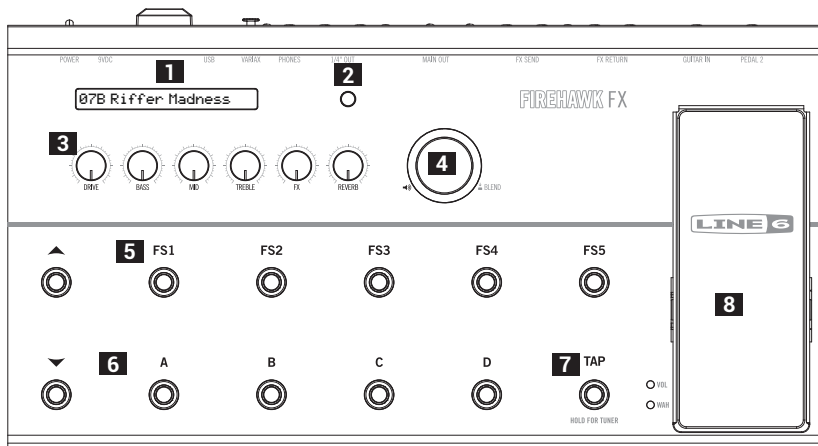
—ステージ、スタジオなど、あらゆる場所で

Firehawk™ FXは、素晴らしいギタートーンのパワーを手元でコントロールできる、次世代のギター・マルチエフェクト・プロセッサです。このハードウェアはLine 6 HDモデリングのサウンドを提供し、ライブ・パフォーマンスやレコーディングに対応できる充実した接続性を実現。ソフトウェア・アプリではモバイル機器を活用して、視覚的なトーン作成と自在なエディット、オンラインのトーン・シェアリングやダウンロード、音楽ライブラリーのワイヤレスによるストリーミングを行えます。

Firehawk FXの特徴

- ハイ・パフォーマンスなフロアタイプ・エフェクト・プロセッサ
- 250種類以上のClassic及びHDギター・アンプ、キャビネット、ストンプ・ボックスおよびスタジオ・エフェクトのモデル
- 各種デバイスからBluetooth®オーディオ・ストリーミング (Android™、iOS、MacおよびPCとの互換性)
- Mac、Windows®、iPadに低レイテンシーでのUSBダイレクト・レコーディング (iPadにはApple® Camera Connection Kitアダプターが必要です)

トップパネルの コントロール類



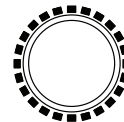
- 通常のギターとVariax®ギターのインプット、1/4"およびXLRバランス・アウト、FXループ、ペダル・コントロールなどを含む最高クラスの接続性

Firehawk Remoteアプリ

- ギターリグのあらゆる要素を、ワイヤレスでコントロールおよびエディットが可能。
- Line 6のオンライン・コミュニティで、無制限のサウンド作成、エディット、ダウンロード、シェアが可能。
- お使いのモバイル機器の音楽ライブラリーを、**Firehawk FX**経由でワイヤレス再生してジャム共演が可能。
- iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4S、iPad (第4世代)、iPad (第3世代)、iPad 2、iPad mini、iPad mini 2、iPad Air、iPod touch (第5世代)に対応。
- Android4.2以降の様々なAndroidスマートフォンおよびタブレットに対応。詳細はwww.line6.jp/androidをご覧ください。
- **Firehawk Remote** iOSアプリ (無料)の最新版をApp Storeでダウンロード、または**Firehawk Remote** Androidアプリ (無料)をGoogle Play™ Storeで入手してください。

1. **LCD画面**—**Firehawk FX**の画面はマルチ機能で、アクセスしているフットスイッチやモードによって異なった情報を表示します。通常は現在ロードされているトーンの名前およびバンク&プリセット内のロケーションが表示されています。画面に表示されるその他の情報は本ガイド内でご説明しています。
2. **Bluetoothペアリング・ボタン**—**Firehawk FX**は、Bluetoothテクノロジーを使用して、お使いのモバイル・デバイスとワイヤレスでコミュニケーションします。**Firehawk Remote**アプリを立ち上げる前に、**Firehawk FX**をお使いのモバイル・デバイスと以下のようにペアリングしてください：
 - **Firehawk FX**の上部パネルにあるBluetoothボタンを押してペアリング・モードに入ると、ボタンが点滅します。
 - iOSデバイスの場合は、Bluetoothをペアリング・モードにしてください。Android™ デバイスの場合は、Bluetooth Settingsメニューを開いてください。
 - **Firehawk FX** デバイス固有の名称がモバイルデバイスに表示されます。Android™ デバイスをお使いの場合、「デバイスをスキャンする」を選択し、利用可能なBluetoothデバイスのリストの更新が必要な場合があります。
 - お使いのモバイル・デバイスで**Firehawk FX**固有の名称を選択してください。これでペアリングの設定が終了し、ワイヤレスでの作業が可能になります。
3. **トーン・コントローラー**—モバイル・デバイスで**Firehawk Remote**アプリを使用している場合、そのEditor画面を使用して全てのトーンの調整を行うことができます。また、**Firehawk FX**本体にある以下のトーン・コントロールでギター・サウンドを微調整することも可能です。
 - **DRIVE**：現在使用しているアンプ・モデルのドライブ・レベルを調整します。
 - **BASS, MID, TREBLE**：現在使用しているアンプ・モデルのベース、ミッド、トレブルを調整します。
 - **FX**：プリセット内のFX Tweakに設定されているエフェクト・パラメーターを調整します。この設定は**Firehawk Remote**アプリ内で変更できます。
 - **REVERB**：現在のプリセットのリバース・レベルを調整します。

4. **マスター・ボリューム・ノブ**—この大きなノブは全体の音量をコントロールします。また、個々の調整のためギターのレベルおよび現在使用しているアンプ・モデルのボリュームへのアクセスを容易にします。



マスター・ボリューム LEDリング

マスター・ボリューム LEDリング—マスター・ボリューム・ノブの周りにあるLEDのリングは、調整可能なパラメーターによって光る色が変わります。

- **選択可能なボリューム・モード**：3つのボリューム・モードがあり、マスター・ボリューム・ノブを押し込むと、以下のパラメーターの調整ができます。
 - **マスター・ボリューム**：LEDが赤く光っている場合、ノブはデバイス全体の出力ボリュームを調整します。ギター・レベル・モードに入るにはノブを一回押してください。
 - **ギター・レベル**：LEDが白く光っている場合、ノブはギター（およびVariax）のレベルを調整します。再生中の音楽に対してギターのレベルのバランスを取ることが可能です。チャンネル・ボリューム・モードに入るにはノブを一回押してください。
 - **アンプ・モデル・チャンネル・ボリューム**：LEDがピンク色に光っている場合、ノブは現在のプリセットのアンプ・モデルのチャンネル・ボリュームを調整します。これは**Firehawk Remote**アプリ内のアンプのボリュームを調整する代わりとして用意されています。マスター・ボリューム・モードに戻るにはノブをもう一回押してください。
 - **トーン・コントロール**：トーン・コントロールを調整するとき、いずれの場合も現在保存されているレベルは赤で表示されます。ノブを回しているときには、それ以外のLEDが現在のレベルを白で表示します。

注：その他のエディットについては後半の「**ライブ・エディット・モード**」をご覧ください。

5. **FXフットスイッチ**—アナログのペダルが並べられたエフェクト・ボードと同様、フットスイッチ (**FS1-FS5**) でFXブロックのオン/オフの切り替えができます。プリセットによって、それぞれのフットスイッチは別々のFXブロックに設定でき、それぞれのフットスイッチの周りのカラー LED によって表示されます。LEDの色は、黄色(コンプレッサーおよびストンプ)、青(モジュレーション)、ピンク(シンセ)、緑(ディレイ)、オレンジ(リバーブ)、白(ルーパー)そして水色(FXループ)となります。いずれかのフットスイッチを押すと、設定されたブロックの説明およびオン/オフの状態が一時的にLCD画面に表示されます。**FS1-FS5**の全てのフットスイッチ設定は、**Firehawk Remote**アプリを使用して作成およびエディットが可能です。詳しくは後の「**Firehawk Remoteアプリ**」のセクションをご覧ください。

6. **プリセット&バンク・セレクト・フットスイッチ**—**Firehawk FX**には、各バンク(1-32)内にある4つのプリセット・ロケーション(A-D)内に保存された128のプリセットが用意されています。LCD画面には現在ロードされているプリセットのバンク番号、ロケーション、およびタイトルが表示されます。

01B Lead the Way

バンク、プリセット・ロケーションおよびタイトルを表示しているLCD画面

Firehawk FXの各プリセットには、トーンの特徴を定義する全てのアンプおよびFXパラメーター設定、フットスイッチ&コントローラー設定、およびFXループ設定が保存されます。

注: モバイル・アプリを使用して、お使いのデバイスで数の制限なくプリセットのダウンロードや作成、エディット、保存、並び替えができます。詳しくは後の「**Firehawk Remoteアプリ**」のセクションをご覧ください。

プリセットを呼び出すには: 4つのプリセット・セレクト・フットスイッチ(A-D)の中のひとつを押し、現在のバンク内のプリセットをロードします。フットスイッチの周りにある赤いLEDにより、現在選択されているものが示されます。

別のバンクにあるプリセットをロードするには: バンクを選択し、プリセット・セレクト・フットスイッチを選びます。**バンクアップ ▲** および**バンクダウン ▼**のフットスイッチを使用してバンク間を移動します。目的とするバンクに到達したら(点滅しているLCD画面によって表示)プリセット・セレクト・フットスイッチ(A-D)の中

のひとつを押し、バンク内のプリセットをロードしてください。5秒以内にフットスイッチが選択されない場合、バンク・セレクト機能はタイムアウトとなります。

プリセット・ステータス・インジケーター: 元の設定からアンプまたはFXを変更した場合、LCD画面内のプリセット・ロケーション番号とタイトルの間にドットが付き、プリセットが現在「保存されていない」状態であることを示します。プリセットへの変更を維持したい場合は保存してください。

05C Tone 4 Days

「ドット」はプリセットが「保存されていない」状態を示す

プリセットを保存するには: 現在選択しているフットスイッチを長押ししてセーブ・モードに入ります。LCD画面の左側に矢印が現れ、画面全体が点滅し、セーブ・モードに入っていることが示されます。変更しないでセーブ・モードから抜けるには、何も触らずに5秒待つとタイムアウトとなり、自動的に抜けます。

>05CTone 4 Days

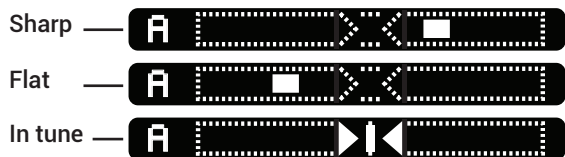
画面の点滅および左側の「矢印」によりセーブ・モードであることが示されます

変更されたプリセットをそのプリセットの現在のロケーションに保存するには: 同じプリセット・セレクト・フットスイッチをもう一度長押しします。画面の点滅が止まれば、変更された設定により、そのロケーションの元のプリセットが上書き保存されます。

別のバンクおよびプリセット・ロケーションを保存するには: セーブ・モードに入っている状態でバンクアップ/バンクダウンのフットスイッチを押し、好きなバンクおよびプリセット・ロケーションを探し、プリセット・セレクト・フットスイッチを押し、プリセット・ロケーションを選択してください。このロケーションに設定されている現在のプリセットを変更されたプリセットに置き換えるには、点滅しているプリセット・セレクト・フットスイッチを長押ししてください。フットスイッチおよびLCDの点滅が止まり、新しく保存されたプリセットのタイトルが表示されます。

7. **タップ・テンポ・ボタン** TAP ボタンを数回押すと、ディレイおよびテンポに同期するその他のエフェクトのテンポを設定できます。このフットスイッチの周りのLEDは、現在のプリセットのテンポで点滅します(点滅は、必要に応じて**Firehawk Remote** アプリで無効にすることができます)。

チューナー・モード TAP ボタンを数秒押し続けると**チューナー・モード**に入ります。ギターで単音を出すと、以下のように音の名称およびピッチがLCDで表示されます。バーが中央より右にある場合は弦のピッチはシャープ、左にある場合はフラットです。中央の範囲内の場合、弦のピッチは正しくチューニングされています。他のフットスイッチまたはノブを触ると、チューナー・モードから抜けません。



LCD画面に表示されたチューナー・モード

注：チューナー・モードに入っている場合、チューニングの状態を示すためにマスター・ボリューム・ノブの周りのLEDも同じように光ります。

8. **エクスプレッション・ペダル** 内蔵エクスプレッション・ペダルに、プリセットによって**ボリューム**または**ワウ**(トゥ・スイッチによって切り替え)をコントロールするボリューム・ワウ・モード、またはデバイスの**FXノブ**に設定されているアンプまたはFXのパラメーターをコントロールする**Tweakモード**の、二つの異なるペダル・モードを設定できます。オプションのエクスプレッション・ペダル(**Line 6 EX-1**など)を**PEDAL 2**のジャックに接続すると、更に細かくコントロールできます。Pedal 2に接続すると自動的に感知され、ペダルの機能は次の「**ペダルの環境設定を行う**」セクションに記載されているように変更されます。

ペダルの環境設定を行う

ペダル・モードのオプションは、Firehawk Remote アプリの Editor 画面のインスペクター枠内にあります。現在のペダル・モードはペダルの左下のVOLおよびWAH LEDによって示されています。以下の表は内蔵ペダルおよびPedal 2 (接続されている場合)の各ペダルモードの具体的なコントロール機能です。

ペダル・モード	内蔵ペダル機能	Pedal 2 機能	LED インジケータ
WAH / VOLUME No Pedal 2	Wah / Volume トゥ・スイッチによって Volume または Wah の切替	使えません	WAH または VOL が それぞれ点灯
WAH / VOLUME With Pedal 2	Wah のみ トゥ・スイッチによって オン/オフ	Volume のみ	Wah がオンの場合 WAH が点灯
TWEAK No Pedal 2	Tweak のみ トゥ・スイッチには機能なし	無効	WAH および VOL の 両方が点灯
TWEAK With Pedal 2	Wah / Volume トゥ・スイッチによって Volume または Wah の切替	Tweak のみ	WAH または VOL が それぞれ点灯

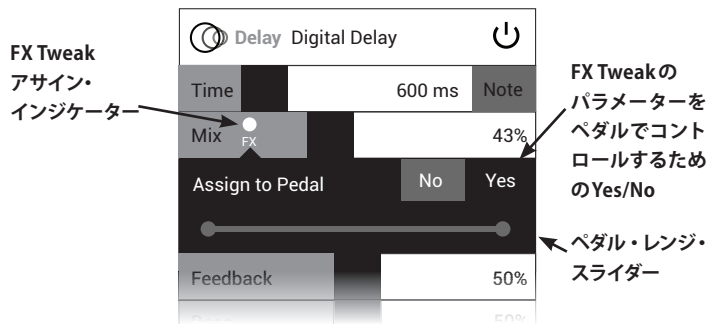
ペダル・モード機能

ペダルを FX TWEAK に割り当てる

Firehawk Remote アプリを使用すると、ほぼ全ての FX パラメーターを FX TWEAK コントロールに割り当てることができるため、マスター・ボリューム・ノブまたはオプションとしてエクスペッション・ペダルで調整できます。アプリ内で FX TWEAK を割り当てる手順は以下のとおりです。

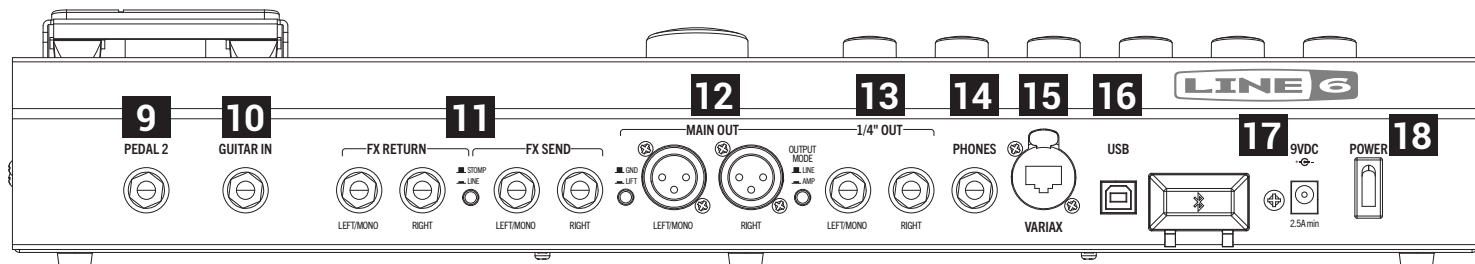
- エディター画面の上部の FX ブロックをタップして、コントロールしたい FX のパラメーターを変更してください。
- 目的のパラメーター・スライダを押し続け、FX TWEAK に割り当ててください。スライダに「FX」インジケータが現れます。

- 「FX」インジケータを押し続けるとペダルのオプションを表示されます。
- Yes を選択すると、設定された FX TWEAK のパラメーターをペダルでコントロールすることができます。
- ペダル・レンジ・スライダー・バーの端をドラッグして、最小値(「かかとを下げた」ポジション)および最大値(「つま先を踏み込んだ」ポジション)を設定してください。



Firehawk Remote アプリ FX Tweak およびペダル・アサイン・オプション

リアパネルの接続端子



9. Pedal 2 – オプションのエクスペッション・ペダルを接続することで、さらに細かいコントロールができます。前のセクションの**エクスペッション・ペダル**に関する説明をご覧ください。

10. ギター・インプット – ここに 1/4" ギター・ケーブルを接続します。

11. エフェクト・ループ – FX センドおよび FX リターン用のモノまたはステレオのジャックが2つずつあります。FX LOOP LEVEL スイッチを使用して、LINE (ライン・レベルのデバイス用) または STOMP (「ストップ・ボックス」タイプのギター・ペダル用) に最適な信号のレベルを選択してください。各プリセットのシグナル・チェーン内の FX LOOP ブロックの位置は、**Firehawk Remote** アプリを使用して編集できます。

12. XLR アウトプット – レコーディング・デバイスへ接続する際、あるいはハウス・ミキサーや PA、Line 6 StageSource™ への直接・センドとして使用する場合には、ここに XLR ケーブルを接続すると理想的です。* ハム音やノイズが気になるときは、**グラウンド・スイッチ** を LIFT に切り替え、組み合わせて使用している複数の機器から生じるグラウンド・ループを解消してください。

13. 1/4" アウトプット – 1/4" ケーブルをここに接続し、ギターの信号をギター・アンプやレコーダー、ミキサー、PA システムへ送ります。*

*注：XLR および 1/4" アウトのレベルおよび信号は**アウトプット・モード**・ボタンの設定に依存します。更に詳しい情報は後の「**アウトプットのモード**」セクションをご覧ください。

14. ヘッドフォン (12 Ω アウトプット) – ここに 1/4" のステレオ・ヘッドフォン・ケーブルを接続します。ヘッドフォンのボリュームは Master Volume ノブによってコントロールします。

15. Variax – Line 6 Variax ギターをここに接続してください。このインプットは Variax のアウトを全て取り込み、楽器への電源も供給します。詳しい情報は後の「**Line 6 Variax を使う**」のセクションをご覧ください。

16. USB ポート – Mac や Windows、iPad と接続し、**Firehawk FX** を高品質なステレオ・イン/アウト、24-bit デジタル・オーディオ・インターフェースとして使用することで、お好みのソフトでダイレクト・レコーディングが可能です。

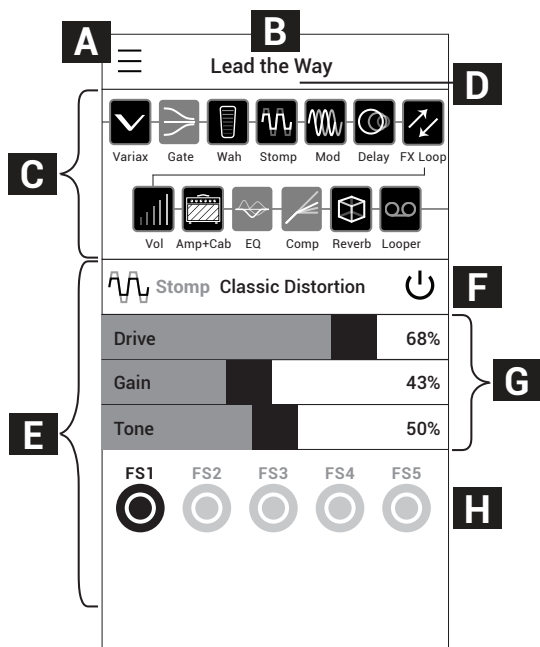
Mac または iPad では： USB で接続すれば **Firehawk FX** をすぐにお使いいただけます。iPad を接続するには iPad Camera Connection Kit USB アダプター (別売) が必要です。

Windows では： www.line6.jp/software から Line 6 **Firehawk FX** USB ASIO® オーディオ・ドライバーをダウンロードし、インストールしてください。

17. パワー・サプライ・インプット – 付属の Line 6 DC パワーサプライ以外は使用しないでください。

18. 電源 – このスイッチで電源を入れます。

Firehawk Remote モバイル・アプリ



Firehawk Remote モバイル・アプリ - エディター画面

- A. メニュー／バック・ボタン**—ここをタップするとメインのメニュー画面がスライドして表示されます(詳細は後のアプリの機能のセクションをご覧ください)。他の画面では、このボタンをバック・ボタンとして使用することができます。
- B. プリセット・タイトル**—現在のプリセットのタイトルがここに表示されます。
- C. シグナル・フロー**—各アイコンのボタンはプロセッサのブロックを表しており、現在のトーンのルーティングの順番および全てのエフェクトのバイパス状態が表示されます。ブロックをタップすると選択され、ブロックのオプションがインスペクター枠内に表示されます。

- D. プロセッサ・ブロッカー**—ブロックはそれぞれ別の特性や機能を持っています。以下のように、ブロックの多くはシグナル・チェーン内で移動が可能です。ブロックを移動させるには、ブロックを押し続けながら、シグナル・チェーン内で左右にドラッグしてください。ブロックを移動できる位置には縦線が表示されます。
- **Variaxインプット・ブロッカー**—Line 6 Variaxギターのオプションを提供します。後の「Line 6 Variaxを使用する」のセクションをご覧ください。
 - **標準ブロッカー**—Amp & Cabブロックにはお好みのアンプおよびキャビネットのモデルに加え、「固定」エフェクト(コンプ、EQおよびゲート)が含まれます。標準ブロックの移動はできません。
 - **FXブロッカー専用エフェクト**(ボリューム、ワウおよびリバーブ)が含まれており、ある程度の移動が可能です。
 - **フレックスFXブロッカー**—含まれるFXタイプを変更でき(ストンプ、モジュレーション、ディレイまたはピッチ/シンセ)、より柔軟なルーティングが可能です。
 - **ルーパー・ブロッカー**—ボリュームおよびEQのパラメーターを下に表示します。ルーパーはFS1からFS5のいずれのフットスイッチにも割り当てることができ、シグナル・チェーンの最初または最後のどちらにでも移動できます。詳細は「ルーパーを使用する」セクションをご覧ください。
- E. ブロック・インスペクター**—選択されているブロックのエディット可能なパラメーターは全てここに表示されます。
- F. モデル選択およびバイパス・ボタン**—モデル選択ボタン(左)を押すと、選択されているブロック・タイプのアンプ、キャビネットまたはFXモデルを選択するメニューが開きます。
- G. パラメーター・スライダー**—選択されているブロックのアンプまたはFXモデルの全ての設定を調整できます。スライダーを長押しすると、そのパラメーターをFXノブおよびエクスペッション・ペダルでコントロールするように設定できます(前の「ペダルの環境設定を行う」をご覧ください)。
- H. FS1-FS5フットスイッチ・アサイン・ボタン**—お好みのFSボタンをタップして、お使いのFirehawk FXデバイスに対応するFXフットスイッチを割り当てることにより、選択されているFXブロックのオン/オフが可能となります。簡単に識別できるように、フットスイッチのLEDは設定されているFXブロックと同じ色になります。

Firehawk Remoteアプリの機能

Firehawk Remoteアプリの全ての機能は、スライドして出されるメインのメニュー画面からアクセスすることができます。



Editor—アプリ内に現在ロードされているトーンをエディットできます。アンプ・モデル、FX、フットスイッチやペダル設定、およびプロセスする「ブロック」のルーティングが変更できます。詳しい情報は前のページをご覧ください。



Hardware Presets—お使いのFirehawk FXデバイス内に保存されているトーンのブラウズ、呼び出し、編集、管理およびバックアップができます。



Tone Search—Line 6クラウド内で、日々増え続けている他のFirehawk FXおよびAMPLIFIユーザーが作成した新しいギターのトーンを検索できます。



My Tones—あなたのLine 6アカウント内に保存されているトーンのブラウズ、呼び出し、検索、編集および管理ができます。また、トーンをハードウェアのプリセットとしてお使いのデバイスに送ることもできます。



Tone Info/Save—検索や曲へのトーン・マッチングを容易にするため、トーンのタイトルやその他のメタデータを編集します。クラウドまたはFirehawk FXに直接トーンを保存できるほか、Firehawkコミュニティへトーンを公開することもできます。



Tuner—チューナーを使用し、素早くチューニングを合わせることが可能です。



Settings—アプリの情報を見る、ヘルプ、Firehawk FXデバイスのファームウェアをアップデート、音楽再生やトーンの呼び出しを任意に設定できます。



Music Library—お使いのモバイル・デバイスの音楽ライブラリーとジャム演奏をする場合、Firehawk Remoteアプリは曲名、アーティスト、ジャンルまたはその他のタグをもとに、ギター・トーンをマッチングします。



Level—音楽再生の音量とギターの音量の「混ざり具合」をリモートで調整できます。

Firehawk FXデバイスのファームウェア・アップデート

最高のパフォーマンスを得るため、必ずFirehawk FXの最新版ファームウェアをお使いください。ファームウェア・アップデートを確認してインストールするには2つの方法があります。

- **Line 6 Updaterユーティリティを使用する**—デバイスのファームウェアをもっとも早くアップデートできる、推奨された方法です。**Line 6 Updaterユーティリティ**は無料ソフトウェアで、MacおよびWindows用があります。www.line6.jp/softwareからダウンロードしてください。ユーティリティをお使いのコンピューターにダウンロードし、インストールします。**Firehawk FX**デバイスの電源が入っている状態で、コンピューターのUSBポートに接続し、アップデーター・ユーティリティを立ち上げてください。接続されているデバイスが自動的に感知され、利用可能なアップデートの情報が通知されます。アップデーター・ユーティリティのステップ通りの操作で、簡単に最新ファームウェアをインストールできます。
- **Firehawk Remote アプリを使用する**—デバイスのファームウェア・アップデートがある場合、**Firehawk Remote**アプリが自動的に通知してくれます。また、アプリ内からファームウェア・アップデートをインストールできます。アプリの指示通りに進めるだけでアップデートが完了します。この方法であればコンピューターや他のソフトを必要とすることなくBluetooth経由でワイヤレスで**Firehawk FX**デバイスをアップデートできますが、Line 6 Updaterユーティリティを使用するよりはかなり時間を要します。

Line 6 Variaxを使う

Firehawk FXはリアパネルにあるVARIAX端子により、全てのLine 6 Variaxモデルに対応しています。また、全てのJames Tyler® Variax(JTV)またはVariax Standardモデルに関しては、オルタネート・チューニングのコントロールおよびモデル/マグネティック・ピックアップのスイッチングにも対応しています。市販のEthernetケーブル等を使用せず、Line 6が提供するVariax 互換ケーブルを使うことでジャックの破損を回避でき、最良の結果が得られます。Variaxについての詳細はwww.line6.jpをご覧ください。

Variaxの設定を編集および保存するには：Firehawk Remoteアプリを立ち上げ、アプリのエディター画面に移動し、シグナル・フロー・セクションの左にある**Variaxインプット・ブロック**をタップしてください。アプリの画面の下部に、以下のVariaxのオプションが表示されます。

- **モデルのコントロール**：Firehawk FX全体のプリセット動作に影響するグローバル・オプションです。
 - **FIREHAWKに設定されている場合**：Firehawkのプリセットをロードすると、Firehawk FXはVariaxの**モデル**および**トーン・ノブ**の設定をギターへ送ります。Variaxギター本体のセッティングを調整すると、その設定がキャプチャーされ、Firehawkのプリセット内に保存されます。
 - **VARIAXに設定されている場合**：Firehawkのプリセットをロードすると、Variaxに保存されている**モデル**および**トーン・ノブのポジション**はギターに送られません。Variaxギター本体のセッティングを調整すると、聴感上は反映されますが、その設定はキャプチャーされず、またFirehawkのプリセット内にも保存されません。
- **チューニングのコントロール**：Firehawk FX全体のプリセット動作に影響するグローバル・オプションです。
 - **FIREHAWKに設定されている場合**：プリセットを呼び出すと、Firehawkプリセット内に保存されているオルタネート・チューニングがお使いのVariaxに送られます。
 - **VARIAXに設定されている場合**：プリセットを呼び出すと、Firehawkプリセット内に保存されているオルタネート・チューニングはお使いのVariaxに送られません。

- **VARIAX STRING 1-6**：JTVまたはVariax Standardモデルの場合、各弦に与えたいチューニングの移動を(フレット数で)以下の6つのパラメーターによって設定できます。(表示されている音程は元のギターのチューニングがスタンダードなE、A、D、G、B、Eに合わせてであると想定しています。)
- **モデル**：お好みのVariaxギター・モデルおよびピックアップ・ポジションをFirehawk FXのプリセットの一部として保存できます。
- **トーン・ノブ・ポジション**：Variaxギターのトーン・ノブの数値をFirehawkのプリセットとして保存できます。
- **ピックアップ・モード**：(JTVまたはVariax Standardモデルのみ) モデルおよびマグネティック・ピックアップのオプションを選択できます。

Variaxオルタネート・チューニング・オプション：VARIAX STRING 1-6オプションを使用して、上記のように各弦の音程のずらし方を個々にエディットしてください。Firehawkのプリセットとしてチューニングが保存され、Firehawkのプリセットを呼び出したときに保存されたチューニングを読み込むかどうかを**Variax チューニング・オプション**によって設定できます。

ルーパーを使用する

Firehawk FXには、ループの録音、再生およびオーバーダブが素早く簡単にできるルーパーが用意されています。**Firehawk Remote**アプリを使用することで、ルーパーをFXフットスイッチFS1-F55のいずれかに割り当てたり、シグナル・フロー内のルーパーの位置を変更したり、ルーパーの音量やEQパラメーターを好みにあわせて編集したりできます。一度フットスイッチに割り当ててしまえば、フットスイッチ1つで以下の全ての機能を操作できます。

レコーディングを始めるには：ルーパーが割り当てられた暗白色のフットスイッチを押してください。フットスイッチのLEDが赤く点滅し、ルーパーが録音していることを示します。

レコーディングを停止するには：ルーパーのスイッチを再度押すとレコーディングが終了します。LEDは緑に点滅し、ルーパーがループを再生していることを示します。

録音されたループにオーバーダブするには：ループが再生している間にルーパーのスイッチを再度押してください。LEDがオレンジに変わり、オーバーダブ・モードに入っていることを示します。

ループを逆再生するには:ループの再生中にルーパーのスイッチを約2秒押し続けてください。再度ルーパーのスイッチを押し続けると通常通りの再生に戻ります。

ルーパーの再生を停止するには:ルーパーのフットスイッチをダブルタップしてください。LEDの点滅が止まって明るい白に変わり、メモリーにループが保存されたことを示します。ルーパーのフットスイッチを再度押すと、保存されているループの再生がまた始まります。

録音されているループを削除し、最初から始めるには:ルーパーを停止させ、フットスイッチを約2秒押し続けてください。LEDは暗白色に戻り、メモリーにループがないことを示します。

アウトプットのモード

Firehawk FXのリアパネルにある**OUTPUT MODE**スイッチは、XLRおよび1/4"アウトに送られるオーディオ信号を、お使いの設定にあわせてスマートに最適化してくれます。

- **ライン・アウト・モード**は、ギター・サウンドをダイレクト・レコーディングおよびフルレンジ・モニタリング用に最適化します。信号はライン・レベルであり、マイク録りをシミュレートしたサウンドをXLRおよび1/4"アウトから出力します。
- **アンプ・アウト・モード**は、先ほどとはまったく異なり、ギター・アンプの前面にあるインプットに接続することに最適化されています。信号は楽器レベルであり、ヘッドホンまたはフルレンジ・システムで聞くには適していないので、このモードではギターの信号は1/4"アウトからのみ出力されます。
- 一般的にBluetoothからストリーミングされたオーディオはギター・アンプを通して聞くには適していないため、**アンプ・アウト・モード**では1/4"アウトにはギターの信号のみ出力します。このモードでは、BluetoothオーディオはXLRおよびヘッドフォン・アウトにのみ出力されます。

次の表のように、ギターのオーディオ信号はフルレンジのシステムまたはギター・アンプに最適化され、各信号のレベルも**LINE**および**AMP**アウトプット・モードによって変わります。

	LINEモード	AMPモード
XLR Output Audio	ギターのトーンはスタジオ/ダイレクトに最適化 Bluetoothストリーミング再生を含む	Bluetoothストリーミング再生のみ
XLR Output Level	8.219 dBu / 6.0 dBv	8.219 dBu / 6.0 dBv
1/4" Output Audio	ギターのトーンはスタジオ/ダイレクトに最適化 Bluetoothストリーミング再生を含む	ギターのトーンのみ -アンプに最適化
1/4" Output Level	ライン・レベル	楽器レベル

LINE vs. AMPモード-アウトへ送られるオーディオ信号の種類およびレベル

注:いずれのアウトプットのモード設定においても、**PHONES**のアウトには必ずXLRアウトと同じオーディオが送られます。

ライブ・エディット・モード

ライブ・エディット・モードでは、FX設定の変更に**Firehawk Remote**アプリを使用する代わりに、**Firehawk FX**デバイスの各FXパラメーターにアクセスできます。手順は以下の通りです。

FXパラメーターのエディット

- **バンクアップ ▲** および **バンクダウン ▼** のフットスイッチを同時に押し、**ライブ・エディット・モード**に入ってください。2列のフットスイッチ (**FS1-F55** および **A-D**) が交互に点滅します。エディットする際にわかりやすいように、アクセス可能な各列のフットスイッチの処理ブロックの略記がLCDに表示されます。図で示されている通り、FXおよびルーパーのブロックは**FS1-F55**からアクセス可能で、アンプ、キャビネットおよびEQは**A-C**からアクセス可能です。

DRV REV MOD DLY LPR ↔ AMP CAB PEQ

点滅しているフットスイッチ列のエディット可能なブロックをLCDが表示します

下の表では、**ライブ・エディット・モード**で、各処理ブロックがデバイス上でどのように表示されるかを表しています。

ブロック・タイプ	LCD 画面内の略記	フットスイッチLEDの色
Drives & Dynamics	DRV	黄
Compressor	CMP	
Filters, Synths & Pitch	SYN	紫
Modulation	MOD	青
Delays	DLY	緑
Reverb	REV	オレンジ
FX Loop	FXL	水色
Looper	LPR	白
Amp	AMP	赤
Speaker Cabinet	CAB	
Preset EQ	PEQ	

- **エディットしたいブロックを選択**：エディットしたいブロックに割り当てられているフットスイッチを押してください。まずLCDに選択されているブロックの現在のモデルの正式名称が表示され、その次に現在のモデルの最初のパラメーターが表示されます。これでエディットの準備ができました。

Digital Delay → **DLY:Time** 430ms

最初にモデルの正式名称が表示され、次にエディット可能なパラメーターが表示されます

- **現在のパラメーターをエディットするには**：エディット可能な数値を調整するには、**エクスプレッション・ペダル**または**マスター・ボリューム・ノブ**を動かします。または、より細かい範囲で調整するには**バンクアップ ▲**か**バンクダウン ▼**のフットスイッチを押してください。パラメーターの現在の数値はLCDおよびマスター・ボリュームLEDリングに表示されます。
- **別のパラメーターをエディットするには**：同じフットスイッチを繰り返し押して、現在のモデルでエディット可能な全てのパラメーターを順番に表示させます。
 - 一つのパラメーターの数値を調整してから、フットスイッチをタップして次のパラメーターをエディットできます。エディットした数値は保持され、**ライブ・エディット・モード**を終了する際に保存または破棄できます。

- **モデル・セレクトのオプション**では別のモデルを選択できますが、現在のフットスイッチに割り当てられることにご注意ください。

- **別のブロックをエディットするには**：他の**FS1-FS5**または**A-D**のフットスイッチを押し、そこに割り当てられているブロックにアクセスしてください。上記の手順で現在のモデルのエディット、または別のモデルの読み込みが可能になります。
- **ライブ・エディット・モードを終了するには**：**バンクアップ ▲** および **バンクダウン ▼** のフットスイッチを同時に押してください。

エディットした設定を保持し続けるには、必ず保存してください。セーブ・モードについて、詳しくは前の「**6.プリセット&バンク・セレクト・フットスイッチ**」セクションをご覧ください。

注：デバイスのトーン、リバーブとFXノブ、タップ・テンポ・フットスイッチは、全て**ライブ・エディット・モード**で機能し続けます。

工場出荷時リセットおよびペダル・キャリブレーション

工場出荷時リセット(ファクトリー・リセット)を行うと、**Firehawk FX**を工場出荷時の設定およびプリセットに復元することができます。**工場出荷時リセットを行う前に、Firehawk Remote アプリを使用して、作成したプリセットを必ずバックアップしてください。**工場出荷時リセット行った場合、正しいペダル操作ができるようにペダル・キャリブレーションを行ってください。

- **工場出荷時リセット手順**：**マスター・ボリューム・ノブ**と**TAP**フットスイッチを同時に押し続けながら電源を入れてください。
- **ペダル・キャリブレーション**：お使いの**Firehawk FX**デバイスの電源を切り、フットスイッチ**A**を押し続けながら電源を入れてください。LCD画面の手順にしたがい、搭載されているエクスプレッション・ペダルのキャリブレーションを行ってください。

ご購入・お取扱いに関するお問い合わせ窓口

Line 6 インフォメーションセンター

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570-062-808

上記番号でつながらない場合は03-5488-5472におかけください。

受付時間 月曜～金曜 11:00～17:00(土日・祝日・センター指定定休日を除く)

[メールでのお問い合わせ](#)

修理に関するお問い合わせ窓口

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570-012-808

上記番号でつながらない場合は053-460-4830におかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00(土日・祝日・センター指定定休日を除く)

[メールでのお問い合わせ](#)

輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

LM営業部 ギター営業推進課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03-5488-6195

CE 2200



© 2021 Yamaha Guitar Group, Inc.

26580 Agoura Road
Calabasas, CA 91302-1921 USA

Imported by
Yamaha Music Europe GmbH
Calabasas, CA Line 6, Inc.:
Siemensstrasse 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: (49)-4101-303-0

© 2021 Yamaha Guitar Group, Inc. All rights reserved.

Line 6, the Line 6 logo, Firehawk, StageSource, and Variax are trademarks or registered trademarks of Yamaha Guitar Group, Inc. in the U.S. and/or other jurisdictions. James Tyler is a registered trademark of James Tyler Guitars, Inc. Apple, App Store, Mac, macOS, iPhone, iPad, and iPod touch, are trademarks of Apple, Inc. registered in the U.S. and other countries. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Android and Play Store, are trademarks of Google LLC. Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Bluetooth is a registered trademark of Bluetooth Sig, Inc. ASIO is a registered trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

The Model and Serial numbers can be found on the product label. Please record these numbers below and retain this document for your records.

Model Number: _____

Serial Number: _____